

各 位

会 社 名 株式会社東京機械製作所  
代表者名 代表取締役社長 都並 清史  
(コード番号：6335 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役かずさテクノセンター長 上等 吉則  
(TEL 0438-20-5551)

## 株式会社 KKS における無人搬送車(AGV)の新規納入(5 台)について

株式会社東京機械製作所(本社：東京都港区、代表：都並清史、以下「TKS」)は、子会社である株式会社 KKS(本社：大阪市西淀川区、代表：犬飼政之)の注力部門である「FA (Factory Automation) 事業」において、このたび、パナソニック エナジー株式会社(本社：大阪府守口市、社長執行役員：只信一生)より当社グループの主力 AGV のカスタマイズ機となる「V1900-H」5 台と周辺機器、ならびに運行管理システム 1 式を受注し、パナソニック エナジーの和歌山工場への納入を順次進めております。

「V1900-H」は、他の物流メーカーとの連携により、電気自動車 (EV) に搭載が見込まれる大容量の新型電池製造ラインの生産性向上に貢献するとともに、安全性の向上や省人化を実現します。

昨今の労働市場では、人手不足が深刻な経営問題となっており、中でも製造・物流現場においては運搬作業の省人化ニーズがますます高まっています。従来、「人」が行っていた搬送作業を AGV へ、すべて自動搬送に変えることにより、単なる自動化・効率化だけでなく、現場作業員の生産性向上にも寄与いたします。国際ロボット連盟(IFR)によりますと、倉庫やトラックからの荷物の積み降ろし作業に、自律走行搬送ロボットを導入することで、1 日のシフト当たりの労働時間を最大で 25%削減できると試算しています(出典:2023 年 11 月 27 日・国際ロボット連盟プレスリリース「ロボットが日本の『2024 問題』の解決に貢献」)。

TKS グループは、AGV・自律走行清掃ロボット・協働ロボットなどを扱う FA 事業で、2026 年度までに売上高 10 億円を目指しています。

なお、当社グループの当期業績に与える影響は軽微ですが、今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

### 【納入中の V1900-H】



以上